

「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	大垣市	学校名	岐阜県立大垣東高等学校			
校長名	杉山 昭彦	対象学年	理数科1～3年	人数	ハリヨ班2・3年10名、1年生40名	
活動名	ハリヨ研究		時間数	(通年) 時間	継続年数	10年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 ⑥ その他（ ）				[南濃町津屋・ハリヨ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	
複数年継続するための工夫改善	過去の調査データと現在との比較を詳細に行い、経年的な環境やハリヨの生息状況等の変化の有無を明らかにするとともに、毎年新たな調査課題を設定し、生徒たちが自ら探究する意欲を常に高く維持できるように活動している。					
<p><b>1 ねらい</b>                  「地域の宝物・ハリヨ」について深く学び、希少な生物に対する科学的探究心を育成するとともに、地域の環境・生物の保全に関わる地域社会の一員としての精神を育成する。</p> <p><b>2 活動の概要</b>                  希少な淡水魚ハリヨとその生息環境について学び、地域社会の一員として西濃地方の環境の希少性・重要性を考えるために、ハリヨ研究の第一人者である岐阜経済大学教授・森誠一先生に御指導いただき、平成17年（理数科設置1年目）より、南濃町津屋地区清水池にて理数科一年生を対象としたハリヨ研修を実施している。この研修では、ハリヨや環境について学ぶだけではなく、実際にハリヨや環境についての調査活動、及び地域の方々へのハリヨについての情報提供を行っている。さらに、平成18年には、理数科希望者による継続研究班「ハリヨ班」の活動を開始し、清水池周辺に生息するハリヨの個体数変動の調査を中心に、ハリヨの生態及び生息環境に関するいろいろな研究を継続中である。                  また、ハリヨ班では、これらの研究結果をワークショップやシンポジウム等で発表し、外部に向けての情報提供を行っている。</p> <p><b>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</b>                  理数科一年生のハリヨ研修では、ハリヨや環境の調査だけではなく、清水池周辺の清掃活動、継続研究班「ハリヨ班」の毎年の調査報告をまとめたリーフレットを、地域の戸一戸を訪ねて配布する活動を行い、地域の方々と交流し、情報を共有できるように努めている。                  継続研究班「ハリヨ班」は、月に2回、清水池での調査・清掃活動を実施しており、調査の時には地域の方々と清水池やハリヨについてお話をすることも少なくない。また、これらの研究結果を外部に向けて発表するなどし、西濃地方のハリヨを広く知っていただけるように活動している。さらに、今年度は海津市と森先生の御協力により、海津市の小学生にハリヨや清水池について教える体験学習を実施した。</p> <p><b>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</b>                  ハリヨだけでなく、西濃地方の環境について深く学ぶことで、地域の環境を守ることの重要性に気が付き、地域を守る気持ちの育成につながっている。また、継続研究班の活動はハリヨに対する科学的探究心が研究の基盤となっているが、研究を進めるにつれ、生徒たちは自分たちの研究がハリヨや西濃地方の環境の保全につながってほしいと考えるようになり、研究を通して、地域社会の一員として確実に成長している。</p>						